

令和6年(2024年)10月8日

保護者の皆様

札幌市立手稲西中学校

校長 田丸 明史

令和6年度全国学力・学習状況調査結果について

晩秋の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動に温かい御理解と御協力をいただき心から感謝申し上げます。

さて、本年4月17日(水)・18日(木)に3学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」につきまして、文部科学省から学校にその結果が届き、先頃、保護者の皆様にも生徒を通じて個人票をお渡ししたところです。本校においては、今回の調査結果をもとに、生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるために分析を進めてまいりました。このほど、その結果がまとまりましたので、その概要についてお知らせいたします。御家庭での指導等に御活用ください。

なお、調査結果の公表については、「序列化や過度な競争が生じないように配慮しつつ、各学校が自校の結果を全国平均と比較し、±3ポイントの幅を基準とした5段階による言葉を用いたり、成果と課題を丁寧に捉え、具体的な改善策を示したりすることとする。」という札幌市の方針を受け、以下のように示しております。

[国語]、[数学]について、それぞれ領域ごとの本校の平均正答率と全国平均との差を用いて比較する。

+3. 1ポイント以上	⇒「△上回っている」
+3. 0ポイントの範囲内で全国平均を上回る	⇒「◇ほぼ同程度であるが、やや上回る」
全国平均と同じ	⇒「－ほぼ同程度」
－3. 0ポイントの範囲内で全国平均を下回る	⇒「◆ほぼ同程度であるが、やや下回る」
－3. 1ポイント以下	⇒「▼下回っている」

また、本調査により測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることを御理解いただけますようお願いいたします。

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p style="text-align: center;">【領域】</p> <p>「言葉の特徴や使い方に関する事項」 △全国平均より上回っている。</p> <p>「情報の扱い方に関する事項」 ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>「我が国の言語文化に関する事項」 △全国平均より上回っている。</p> <p>「話すこと・聞くこと」 △全国平均より上回っている。</p> <p>「書くこと」 △全国平均より上回っている。</p> <p>「読むこと」 △全国平均より上回っている。</p>	<p>➤ 短歌に用いられている表現の技法について理解すること。</p> <p>➤ 意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>➤ 楷書と行書の特徴の違いを理解すること。</p> <p>➤ 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。</p> <p>➤ 文章の全体と部分の関係に注意しながら、主張と例示との関係を捉えること。</p>	<p>➤ 短歌に用いられる表現の技法（比喻、反復、倒置、体言止めなど）を理解して使う学習活動の充実。</p> <p>➤ 原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について理解し、自分の考えをまとめる学習活動の充実。</p> <p>➤ 漢字の楷書と行書の基礎的な書き方の違いを理解して、身近な行書に触れたり書いたりする学習活動の充実。</p> <p>➤ 伝えたいことを明確にするために、集めた材料を整理し、文の成分の順序・照応に注意して、自分の考えが伝わるように表現を工夫する学習活動の充実。</p> <p>➤ 文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係や登場人物の設定の仕方などを捉える学習活動の充実。</p>

中学校 国語

本校の概要

【領域】

「数と式」

△全国平均より上回っている。

「図形」

△全国平均より上回っている。

「関数」

△全国平均より上回っている。

「データの活用」

△全国平均より上回っている。

今回の調査における課題

➢ 整数の間の関係について成り立ちそうな事柄を予想し、その事柄が成り立つことを文字を用いた式を使って説明すること。

➢ 図形上の点を動かすとき、ある2つの角に注目し、その和について成り立つことを見出すこと。

➢ 2つの数量の変化の違いを関数関係に着目して考察し、その解決の方法を説明すること。

➢ 与えられたデータから代表値の意味や求め方を理解すること。

改善の方向

➢ 成り立ちそうな事柄を予想し、予想を確かめ、事柄が成り立つ理由について筋道を立てて考え説明する学習活動の充実。

➢ 予想した事柄が成り立つことを論理的に考察し表現することや、問題解決の過程や結果を振り返って新たな性質を見出す学習活動の充実。

➢ 事象の中にある関数関係を見出し、式や表、グラフを用いて課題を解決し、得られた結果の意味を数学的に説明し考察する学習活動の充実。

➢ 日常生活や社会の事象を考察する場面において、表やグラフなどからデータの傾向を適切に読み取り、考察し判断するとき、その理由を数学的な表現を用いて説明する学習活動の充実。

【生活習慣や学習環境に関する質問調査結果の概要】

すべての質問について、肯定的な回答を合計し、全国平均と比較した結果について、特徴的なものをお知らせいたします。

(1) 全国平均と比較して、肯定的な回答の割合が高いもの

- ・毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
- ・自分には、よいところがあると思いますか。
- ・国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめていますか。
- ・国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いていますか。
- ・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
- ・理科の勉強は好きですか。
- ・1，2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか。
- ・1，2年生の時に受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。
- ・学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができますか。
- ・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。

(2) 全国平均と比較して、肯定的な回答の割合が同程度のもの

- ・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。
- ・将来の夢や目標を持っていますが。
- ・人が困っているときは、進んで助けていますか。
- ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
- ・友達関係に満足していますか。
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。
- ・数学の問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。
- ・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。

(3) 全国平均と比較して、肯定的な回答の割合が低いもの

- ・1，2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。
- ・1，2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。
- ・数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。

これまで、様々な学校行事が縮小されたり、友達との共同作業が制限されたりしてきましたが、これらが緩和され、ようやく以前の学校生活を取り戻してきました。

質問調査の結果を見ると、集団生活や社会生活におけるきまりやルール、約束などの規範意識は、全国平均と大きく変わらないことがわかります。また、「友達関係に満足している」度合いも全国平均と同程度であり、今後も、学級活動や学校行事、道徳の授業、教育相談活動等を通じて、人間関係を築き調整する力を養っていきたいと考えています。さらに、「自分にはよいところがある」という自己肯定感も高く持っており、前向きに学校生活を送っていることもうかがえますので、引き続き、一人一人の生徒との相談活動を積極的に行い、相談しやすい環境を整えるとともに、より一層自己肯定感を高められるように支援してまいります。

学習面については、国語の授業において話し合いを通して互いの発言を関連付けたり自分の考えがわかりやすく伝わるような工夫をしたりしている生徒の割合が高いこと、数学に見られるように教科の学習が将来に役立つと考えて目標を持って学習に取り組んでいる生徒の割合が高いことがわかります。その意欲をさらに高めていけるよう、引き続き本校の「学ぶ力」育成プログラムに基づく取組を全教職員で進めていきます。また、道徳や総合的な学習の時間も含めて、子どもたちが興味関心をもって意欲的に学習に取り組み、将来の夢や希望の実現に向けて必要な資質や能力を育成できるよう、教科研修を深めていきたいと思ひます。

ここに挙げたものは、あくまで生徒がもつ一面にすぎません。学校では、生徒の良さ、可能性をさらに伸ばし、課題の克服に向けて、教育課程の充実と授業の工夫改善に努めていきたいと思ひます。